



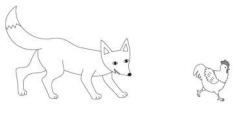
# 2歳児クラス 9月 第2回 「ロージーのおさんぽ」

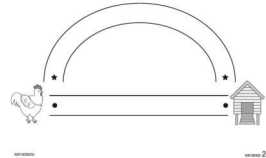
保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めんどりのロージーがお散歩する後ろをキツネが追いかける場面を、リズムカルに表現する。</li> <li>・「すたすた・すたこら・すいすい」などロージーの動き、場面展開のコトバを生き生きと表現する。</li> <li>・コトバがないページも、子ども達がお話の展開を想像出来るようにことばを掛けながらゆっくりとページをめくり進行する</li> </ul>	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> <li>ペープサート (ロージー・きつね)</li> </ul>	保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペープサートきつねをちう見せしてから登場。</li> <li>・子どもたちと一緒にストーリーを楽しむ。</li> </ul>	
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講：ロージーのペープサート提示。ロージーを紹介しこれからお散歩に行くことを話す。</li> <li>・保：「ちら、ちら」とキツネのペープサートを使って講師とロージーに気づかれない様に様子をうかがうようなしぐさで登場。</li> <li>・講：ロージーに「どこかできつねさんが狙っているかもしれないから気を付けてねー。行ってらっしゃい」と送り出し、お話を始める。</li> </ul>		

## がくしゅうタイム

活動①	ねらい	巧緻性	折り紙で△を折ることができる	
設問	折り紙を△に折ってわらの山にしてきつねさんにかぶせ、きつねさんからロージーを守ってあげましょう。			
つな	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講：「0-ジ-無事お家に帰れて良かったね」</li> <li>・保：「先生大変…またきつねが0-ジ-を狙ってるの」とプリント提示。</li> </ul>			教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講：「大変。0-ジ-を助けなくちゃ！」どうしたらいいか問いかけ、子どもたちの言葉を受けながら、「良いこと考えた！お話にも出てきた藁の山できつねさんやっつけちゃおう」と折り紙を提示し見本行動。                             <ol style="list-style-type: none"> <li>①口の折り紙を◇の方向に置き直す</li> <li>②下の角を上の方に向かって持ち上げてぴったりと合わせ、片手で合わせた角を押さえたままもう片方をそのまま下にずらし、折れ線真ん中から左右へ「アイロン」としっかり押さえて△型に折る。</li> <li>③△をきつねの両面テープを剥がしキツネが隠れるように△を貼る</li> </ol> </li> <li>・講：「これで大丈夫。でもまだこんなに狙っているきつねがいるの、みんなも手伝ってくれるかな？」</li> </ul>			P1 (両面テープ付) P1用折り紙
	<ul style="list-style-type: none"> <li>数にチャレンジ</li> <li>・講：「おはじき3個取って折り紙と交換しましょう」おはじきがたくさん入った皿から「3こ」取り折り紙と交換する見本行動。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・子：おはじき「3こ」取って折り紙と交換する。</li> </ul> </li> <li>・保：子どもたちからおはじき「3こ」を受け取り折り紙を渡す。</li> <li>・子：講師の見本同様に折り紙を△に折る。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>※折り紙の角が少々ずれても折直さず、本人の達成感を受け止める。ずれていることが気になる子には一緒に直す。</li> </ul> </li> <li>・保：プリント配布。</li> <li>・子：プリントにきつねを隠す様に△を貼り、0-ジ-を助ける。(テープ ゴミは皿の中)</li> <li>・講：「ロージーもうこれで安心だね！良かったね。ロージーお家に帰るって。気を付けてねー」とプリント回収。次に進む</li> </ul>	保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント提示</li> <li>・おはじきの皿配布</li> <li>・おはじき「3こ」と交換に折り紙を渡す</li> <li>・△折り補助</li> <li>・プリント配布</li> <li>・ゴミ用皿配備</li> <li>・賞賛</li> <li>・プリント回収</li> </ul>		

<b>活動②</b>		<b>書く</b>	道からはみ出ないように意識しながら力強い線が描ける。	
設問	<b>道からはみ出ないように気をつけて、ロージーをおうちまで帰してあげましょう。</b>			教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「ロージー大丈夫かな？まっすぐお家に帰れるかな」</li> <li>保：「迷子にならないように先生帰る道教えてあげてください」とプリント提示。</li> </ul>			P2 ★クレヨン
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「まかせて！まっすぐお家に帰れるように教えてあげよう」とクレヨン提示。「道からはみ出たらブブー。点から点、線の中、真ん中真ん中通るのね」と見本行動。まずは下のまっすぐ道。「クレヨンギョ！片手はポン！（プリント押さえ）」スタートの点にクレヨンを置き子どもたちの「スタート」の合図で始める。キーワード「真ん中真ん中…」と唱えながら力強く線を描いていく。終わりの点で「ストップ」の掛け声を再び子どもたちにかける。同様に上の半円、山型の道も書いていく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>※途中失敗行動で「見えない見えない」薄い線で描いたり、「おっと」と道から外れるなどして「ブブー」と子どもに言わせるのも強調を促します。見本行動にうまく入れながら行ってみましょう。</li> </ul> </li> <li>保：プリント、クレヨン配布。</li> <li>クレヨンの握りが弱く筆圧が弱い子は一緒に手を添えて書き、感覚をつかめるようにすると良い。</li> <li>早い子はクレヨンの色を変えて何度も繰り返し書いても良い。</li> <li>講：「ロージー無事お家帰れて良かったね」と賞賛。花丸やスタンプを押して終了。</li> </ul>			保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>プリント提示</li> <li>プリント、クレヨン配布</li> <li>クレヨン握り方、プリントの押さえ方確認</li> <li>線の書き方フォロー</li> <li>賞賛</li> <li>プリント回収</li> </ul>

<b>数子ヤレ</b>		<b>数</b>	たくさんのおはじきの中から「3こ」取る	教材
設問	<b>おはじき3個取って折り紙と交換しましょう。</b>			
活動内容	※<活動②>の中で実施します。			保育士の役割